

CD ラジオ カセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CFD-S20CP



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的な点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- 1 電源を切る
- 2 電源プラグをコンセントから抜く
- 3 お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

目次

| | |
|---------------|---|
| ⚠警告・⚠注意 | 4 |
|---------------|---|

ここだけ読んでも使えます

| | |
|-----------------------|----|
| 音楽CDやMP3ファイルを聞く | 8 |
| ラジオを聞く | 12 |
| テープを聞く | 14 |
| 録音する | 16 |

CD

| | |
|----------------------------------|----|
| 表示窓の見かた | 18 |
| 聞きたい曲を選ぶ （ダイレクト選曲/サーチ） | 19 |
| 繰り返し聞く（リピート再生） | 20 |
| 順不同に聞く（シャッフル再生） | 21 |
| 聞きたい曲を好きな順に聞く （プログラム再生） | 21 |

ラジオ

| | |
|--------------------------------|----|
| 放送局を記憶させる | 23 |
| 記憶させた放送局を聞く （プリセット選局） | 24 |

音質

| | |
|----------------|----|
| 好みの音質で聞く | 25 |
|----------------|----|

タイマー

| | |
|------------------------------|----|
| 音楽を聞きながら眠る （スリープ機能） | 26 |
|------------------------------|----|

準備

| | |
|---------------|----|
| 電源を準備する | 27 |
|---------------|----|

その他

| | |
|--------------------|----|
| 使用上のご注意 | 28 |
| 故障かな?と思ったら | 29 |
| お手入れ | 32 |
| 保証書とアフターサービス | 33 |
| 主な仕様 | 34 |
| 各部のなまえ | 35 |
| MP3について | 38 |
| 索引 | 39 |

この取扱説明書について

この取扱説明書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」(35～37ページ)も併せてご覧ください。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- CDラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



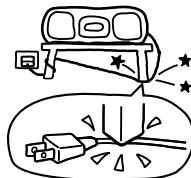
禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に変換をご依頼ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



指示

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

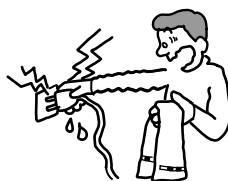
感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



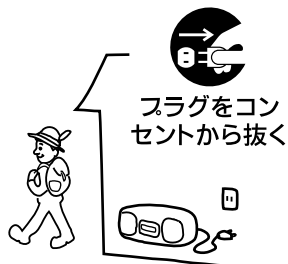
分解禁止

移動させるとき、長時間使わないときは、

電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

つづき

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 小さい電池は飲み込み恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

アルカリ電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

- アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

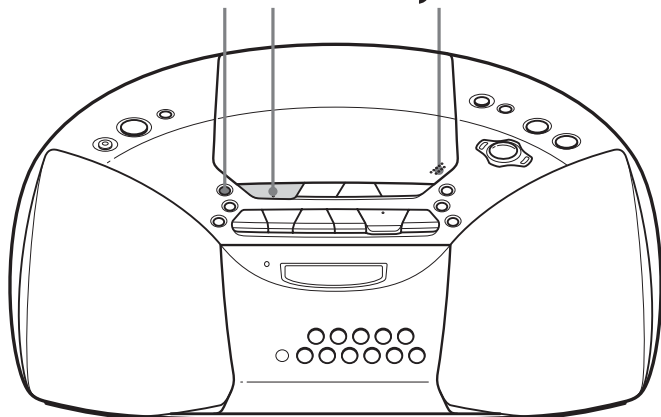
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときには、医師に相談してください。

注意

- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときは取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

音楽CDやMP3ファイルを聞く

1 4 2, 3



準備→電源コードを接続してください(27ページ参照)。

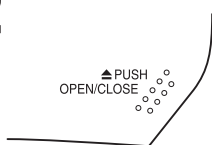
1



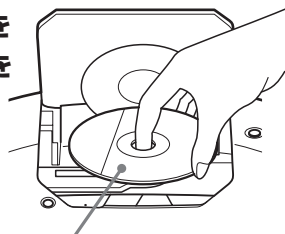
CDボタンを押す。

電源が入ります。

2

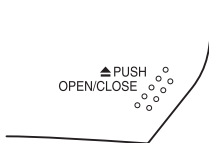


プッシュ オープン クローズ
▲ **PUSH OPEN/CLOSE**を
押してCDぶたを開け、CDを
入れる。

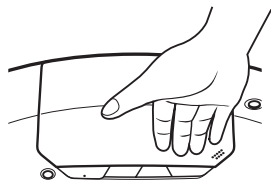


文字のある面を上

3



プッシュ オープン クローズ
▲ **PUSH OPEN/CLOSE**
を押してCDぶたを閉める。



4

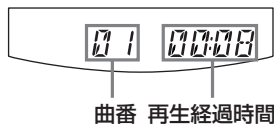


▶||ボタンを押す。
(リモコンでは▶ボタンを押す。)

再生が始まります。

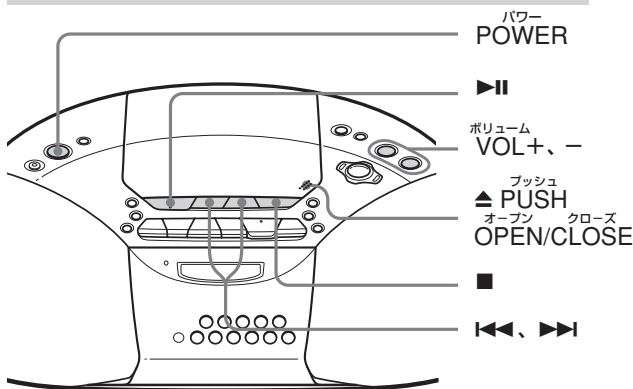
MP3ファイルを再生するには、10ページをご覧ください。

本体表示窓



ここだけ読んでも使えます

その他の操作



ちょっと一言

CDの再生を一度止めても、もう一度その曲から再生を始めることができます（リジューム再生）。リジューム再生の設定を解除するには、停止中にもう一度■ボタンを押します。

| こんなときは | 押すボタン |
|------------------|--|
| 音量を調節する | ボリューム VOL+*、- |
| 再生を止める | ■ |
| 再生中に一時停止する | ▶ *(リモコンでは) もう一度押すと再生が始まる。 |
| 曲の頭に戻す 前の曲へ戻す | ◀◀ |
| 次の曲へ進む | ▶▶ |
| CDを取り出す** | ▲ PUSH OPEN/CLOSE <small>プッシュ オープン クローズ</small> |
| 電源を入/切する | POWER <small>パワー</small> |

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

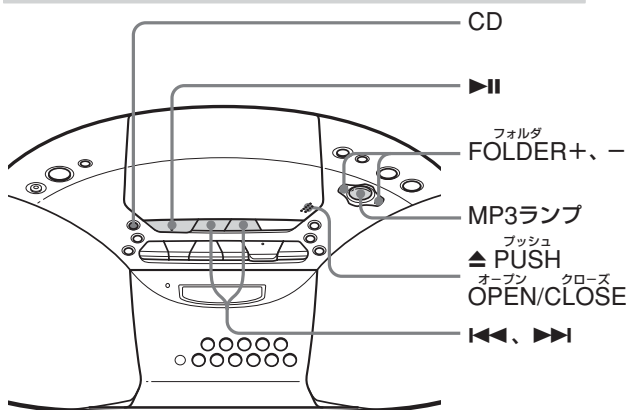
** CDぶたを開けると、次の再生は1曲目から始まります。

次のページへつづく

ここだけ読んでも使えます

音楽CDやMP3ファイルを聞く(つづき)

MP3ファイルを聞く



ご注意

本機はMP3ファイルを再生する前に、CDに記録されているフォルダとファイルの全情報を読み込みます。読み込み中は「Reading」が表示されます。

ちょっと一言

MP3ファイルの再生中でも、音楽CDの場合と同じように9ページの表の操作をすることができます。

1 CDボタンを押す。

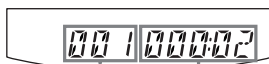
2 ▲ PUSH OPEN/CLOSEを押してCDぶたを開け、CDを入れる(8ページ)。

3 ▲ PUSH OPEN/CLOSEを押してCDぶたを閉める。

MP3ファイルが記録されているCDを読み込むと、MP3ランプが点灯します。

4 ▶||ボタンを押す。

CDに記録されているMP3ファイルを再生します。



フォルダを選ぶ

次のフォルダへ進むにはFOLDER+ボタンを、戻すにはFOLDER-ボタンを使います(リモコンではFLDR+またはFLDR-を押す)。

ファイルを選ぶ

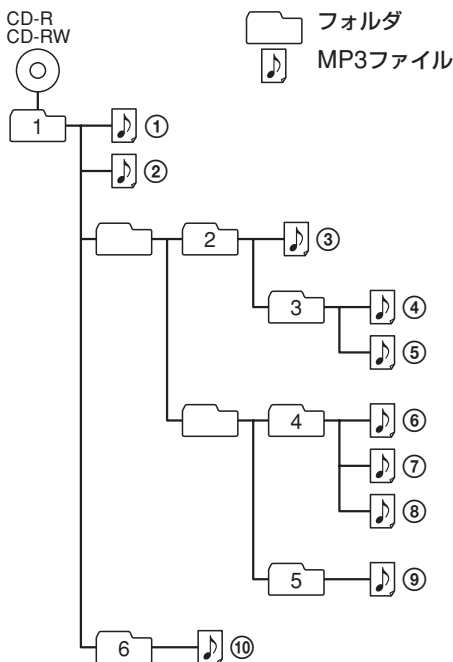
次のファイルへ進むには▶▶ボタンを、戻すには◀◀ボタンを使います。

ご注意

- MP3ファイルを含まないフォルダとはばして再生します。
- 最大フォルダ数：255
最大ファイル数：255
- フォルダ名とファイル名はそれぞれ64文字まで表示することができます。
- 本機で表示できる文字はA～Z、a～z、0～9、_（下線）です。表示できない文字は「*」と表示されません。
- 本機はID3タグフォーマットのバージョン1.1に対応しています。ファイルにID3タグの情報が入っている場合は、曲名、アーティスト名、アルバム名を表示することができます。

フォルダ構造と再生順

フォルダとファイルの再生順は次のようになります。

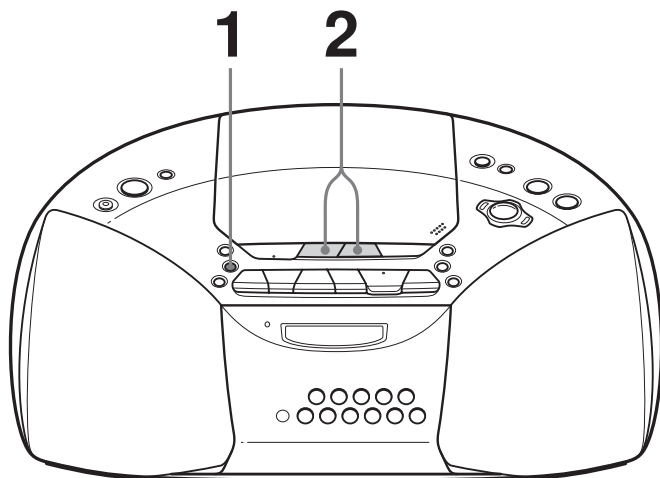


CD-R/CD-RWとMP3ファイルについて

本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）、CD-RW（リライタブル）ディスクとCD-ROMフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。

*CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

ラジオを聞く



準備→電源コードを接続してください(27ページ参照)。

1

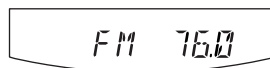
RADIO BAND
AUTO PRESET 

ラジオ バンド オート
**RADIO BAND・AUTO
プリセット**

**PRESETボタンを押し
て、FMまたはAMを選ぶ。**

ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM」(「TV」)または「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。

本体表示窓



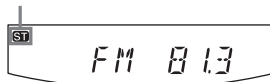
2



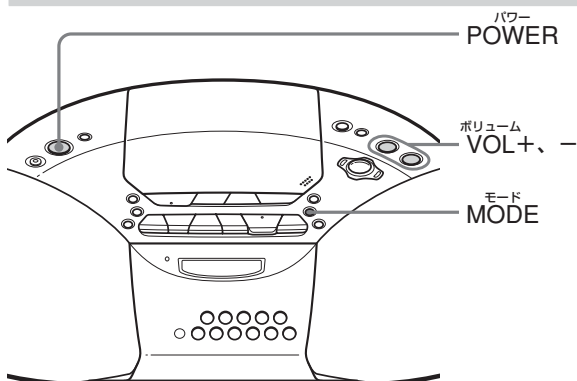
チューン
**TUNE+または-ボタンを
押したままにし、表示窓
の数字が動き始めたら指
を離す。**

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、TUNE+または-ボタンを繰り返し押し、聞きたい局の周波数に合わせます。

FMステレオ受信の
とき出る



その他の操作



ちょっと一言

- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AM、TV1-3のステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、MODEボタンを押して、表示窓に「Mono」を表示させます。音はモノラルになります。

こんなときは

押すボタン

| | |
|----------|------------------|
| 音量を調節する | ボリューム VOL+*、- |
| 電源を入/切する | パワー POWER |

* 凸点 (突起) がついています。操作の目印としてお使いください。

受信状態をよくする

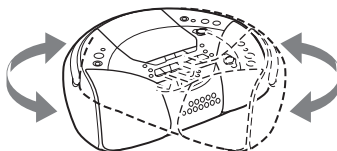
FM(TV1~3ch)放送のとき

アンテナを伸ばし、向きを変える。



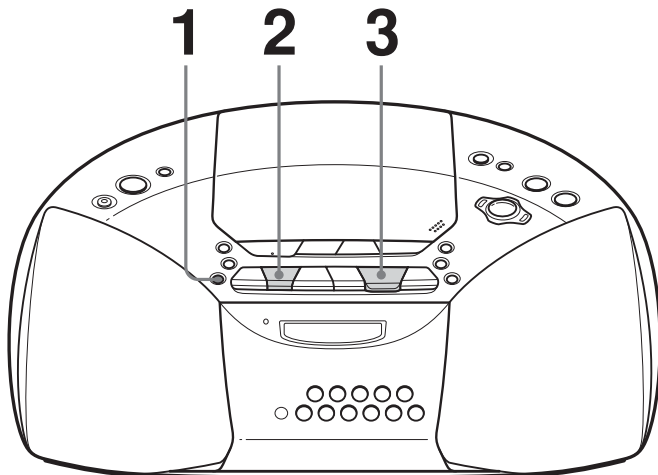
AM放送のとき

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。



テープを聞く

-TYPE I(ノーマル)テープ専用



準備→電源コードを接続してください(27ページ参照)。

1



TAPEボタンを押す。

電源が入ります。

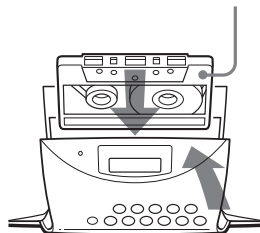
2



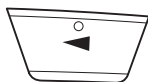
**■△ボタンを押し、カセット
を入れ、カセットぶたを
閉める。**

TYPE I(ノーマル)テープをお使いく
ださい。

聞きたい面を手前に



3



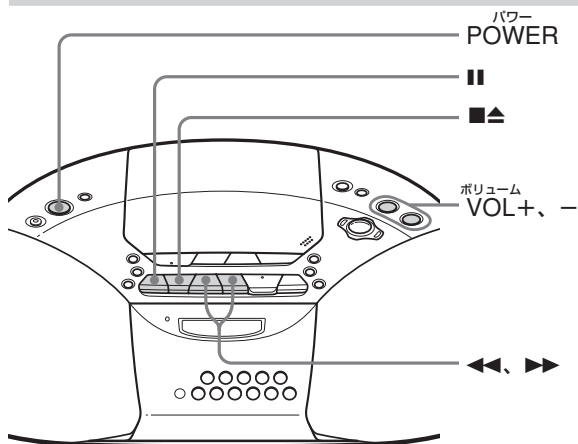
▶ボタンを押す。

再生が始まります。

表示窓



その他の操作

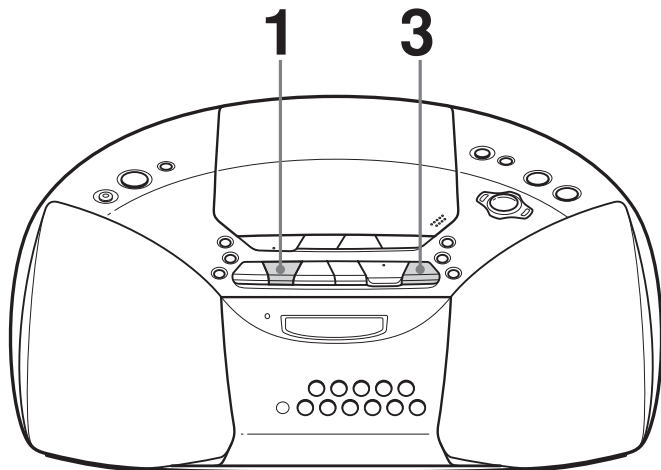


| こんなときは | 押すボタン |
|------------|--------------------|
| 音量を調節する | ボリューム VOL+*、- |
| 再生を止める | ■▲ |
| 早送りや巻戻しをする | ◀または▶ |
| 再生中に一時停止する | もう一度押すと再生が始まる。 |
| カセットを取り出す | ■▲ |
| 電源を入/切する | パワー POWER |

* VOL+ボタンと◀ボタンには凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

録音する

—TYPE I(ノーマル)テープ専用



準備→電源コードを接続してください(27ページ参照)。

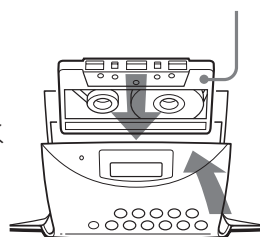
1



■△ボタンを押し、カセット
を入れ、カセットぶたを
閉める。

TYPE I(ノーマル)テープをお使いく
ださい。

録音したい面を手前に



2

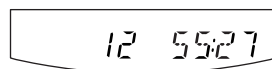
録音するものを選ぶ。

表示窓



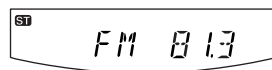
CDを録音するとき

CDボタンを押し、CDを入れる
(8ページ参照)。



ラジオを録音するとき

録音する放送局を受信する
(12ページ参照)。



3

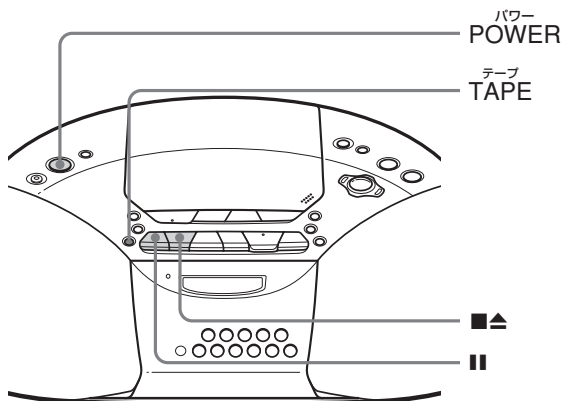


● ボタンを押す。

◀ボタンが同時に押され、録音が始まります。

ここだけ読んでも使えます

その他の操作



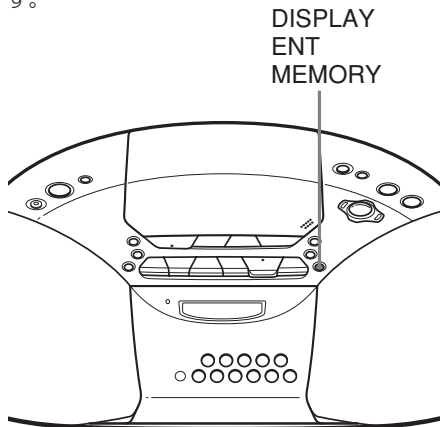
ちょっと一言

- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
- AM放送を録音するとき、手順3の●ボタンを押したあととピーという雑音が出ていたら、MODEボタンを押して雑音が消える状態を選んでください。
- 録音した音を消去するには
1 音を消したいカセットを入れる。
2 TAPEボタンを押す。
3 ●ボタンを押す。

| こんなときは | 押すボタン |
|-----------|--------------------|
| 録音を止める | ■▲ |
| 録音を一時停止する | もう一度押すと録音が始まる。 |
| 電源を入/切する | パワー POWER |

表示窓の見かた

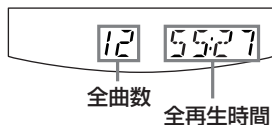
表示窓でCDの情報を調べることができます。



音楽CDの残り時間と残りの曲数を確認する

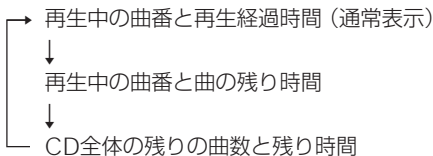
全曲数と全再生時間を確認する

停止中に表示窓で確認できます。



残り再生時間を調べる

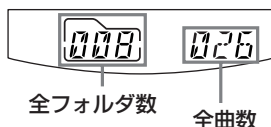
再生中にDISPLAY・ENT・MEMORYボタンを押します。押すたびに次のように表示が変わります。



MP3ファイルを記録したCDの情報を確認する

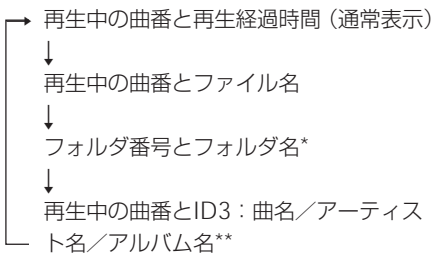
全フォルダ数と全曲数を確認する

停止中に表示窓で確認できます。



ファイル情報を確認する

MP3ファイルを再生中に、DISPLAY・ENT・MEMORYボタンを押します。押すたびに次のように表示が変わります。



* フォルダ名がないときは「Root」と表示されます。

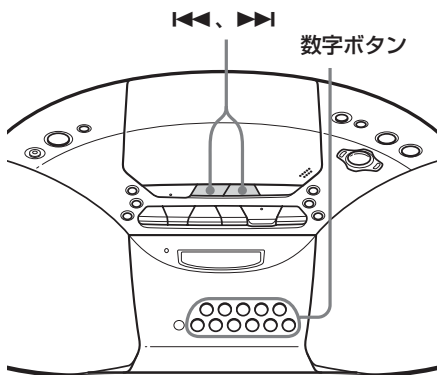
** ファイルにID3タグ情報が入っていないときは「No Title」、「No Artist」、「No Album」と表示されます。

聞きたい曲を選ぶ

(ダイレクト選曲/サーチ)

CDの聞きたい曲の再生を、数字ボタンですぐに始めることができます。

また、◀◀、▶▶ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。



ちょっと一言

- 10曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタン(1~0)を押します。
例：23曲目を選ぶときは、>10→2→3の順に押します。
10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
- 100曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを2回押したあと100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

| 探しかた | 操作のしかた |
|--------------------------------|----------------------------|
| 曲番で直接選ぶ (ダイレクト選曲) | 曲番の数字ボタンを押す。 |
| 聞きながら探す (サーチ) | 再生中に◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。 |
| 表示窓の再生時間 を見ながら探す (高速サーチ) | 一時停止中に◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。 |

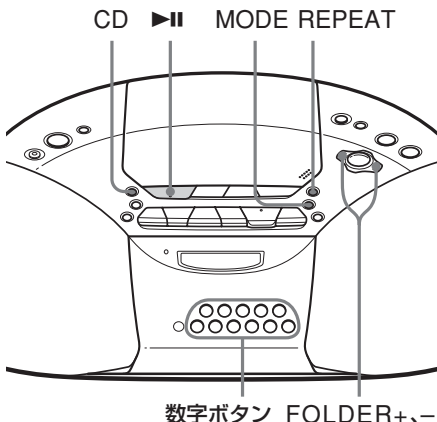
ご注意

- MP3ファイルを再生するときのダイレクト選曲は、現在選択しているフォルダ内の曲にのみ有効です。
- ダイレクト選曲の場合、表示窓に「SHUF」「PGM」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

繰り返し聞く

(リピート再生)

CDの全曲または1曲を繰り返し聞くことができます。シャッフル再生やプログラム再生を繰り返すこともできます。



1 CDボタンを押す。
「CD」が表示されます。

2 次の操作をする。

| リピートの種類 | 操作 |
|---------|----|
|---------|----|

| | |
|----------|--|
| 1曲だけ繰り返す | 1 REPEATボタンを押して「REP 1」を表示させる。 2 繰り返したい曲の数字ボタンを押す。 |
|----------|--|

| | |
|---------|---|
| 全曲を繰り返す | 1 REPEATボタンを押して「REP ALL」を表示させる。 2 ► ボタンを押す。 |
|---------|---|

選んだフォルダ内の全曲を繰り返す (MP3ファイルのみ)

- 1 REPEATボタンを押して「REP FLDR」を表示させる。

- 2 FOLDER+またはFOLDER-ボタンを押してフォルダを選び、►||ボタンを押す。

順不同に繰り返す

- 1 シャッフル再生を始める (21ページ参照)。
- 2 REPEATボタンを押して「SHUF REP」を表示させる。

プログラムした曲順で繰り返す

- 1 曲をプログラムする (21ページ参照)。
- 2 REPEATボタンを押して「PGM REP」を表示させる。
- 3 ►||ボタンを押す。

プログラムしたフォルダ順で繰り返す (MP3ファイルのみ)

- 1 フォルダをプログラムする (21ページ参照)。
- 2 REPEATボタンを押して「FLDR PGM REP」を表示させる。
- 3 ►||ボタンを押す。

リピート再生をやめる

REPEATボタンを押して「REP」を消します。

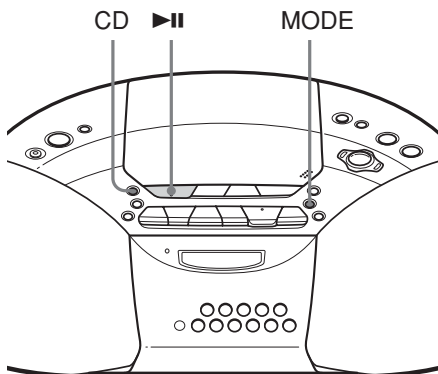
MP3ファイルを再生するときは

「REP ALL」を選択すると、CDの全曲 (最大255曲まで) を繰り返し再生します。

順不同に聞く

(シャッフル再生)

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。



- 1 CDボタンを押す。
「CD」が表示されます。
- 2 MODEボタンを押して「SHUF」を表示させる。
- 3 ▶||ボタンを押す。
シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生をやめる

停止させてからMODEボタンを押して「SHUF」を消します。

MP3ファイルを再生するときは

CDの全曲(最大255曲まで)をシャッフル再生します。

ちょっと一言

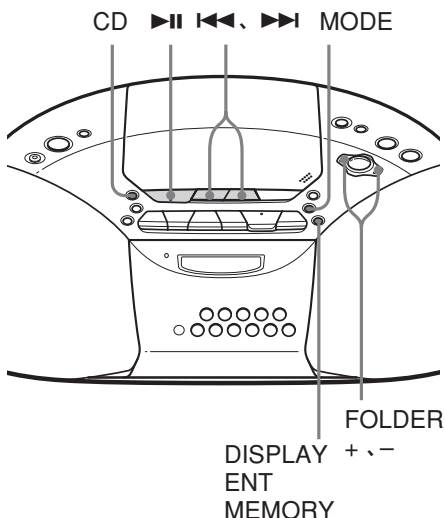
- シャッフル再生中は◀◀ボタンを押して前の曲に戻すことはできません。
- シャッフル再生ではリジューム再生(9ページ)はできません。

聞きたい曲を好きな順に聞く

(プログラム再生)

聞きたい曲を好きな順に20曲までプログラムすることができます。

MP3ファイルを再生するときは、20フォルダまでプログラムすることができます(プログラムフォルダ再生)。



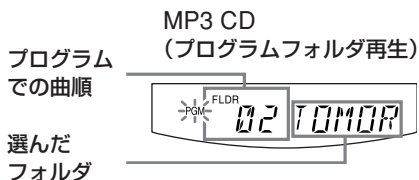
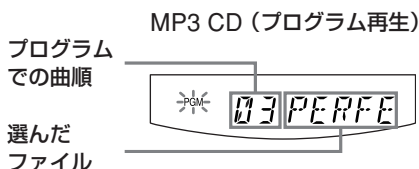
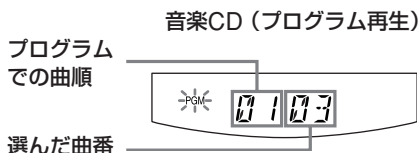
- 1 CDボタンを押す。
「CD」が表示されます。
- 2 MODEボタンを押して「PGM」を表示させる。
プログラムフォルダ再生(MP3ファイルのみ)の時は、MODEボタンを押して「PGM FLDR」を表示させます。

次のページへつづく

聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生) (つづき)

3 ◀◀、▶▶ボタン、または FOLDER+、-ボタンを押して、曲またはファイル*を選び、その後DISPLAY・ENT・MEMORYボタンを押す。

* プログラムフォルダ再生のときはフォルダ



4 ▶||ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生をやめる

停止させてからMODEボタンを押して「PGM」を消します。

曲順を確認する

停止中にDISPLAY・ENT・MEMORYボタンを押します。

ボタンを押すたびにプログラムした順で曲番が表示されます。

プログラムを変更するには

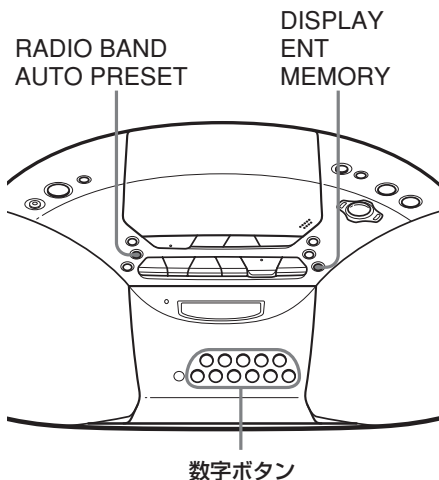
再生前には1回、再生中には2回、■ボタンを押して現在のプログラムを消してから、プログラムし直します。

ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶||ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- プログラム再生を録音するには、プログラムを作ってから、録音用カセットを入れ、●ボタンを押して録音を始めます。
- プログラム再生ではリジューム再生(9ページ)はできません。

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局で、合計30局まで記憶できます。



電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局を記憶させる、またはプリセット番号を選んで記憶させる

- 1 RADIO BAND・AUTO PRESETボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
- 2 記憶させたい放送局を受信させる。
- 3 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押ししたままにする。

プリセット番号が10番以降の場合は>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。1の位の数のボタンを押すときは、約2秒間押ししてください。

例：プリセット番号12の場合は、>10→1の順に押したあと、2を約2秒間押ししたままにします。

- 1 RADIO BAND・AUTO PRESETボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

- 2 「AUTO」が点滅するまで、RADIO BAND・AUTO PRESETボタンを押したままにする。

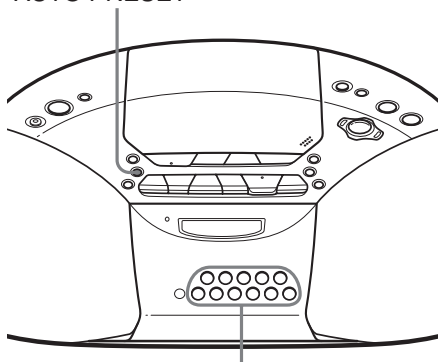
- 3 DISPLAY・ENT・MEMORYボタンを押す。

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局だけが自動的に記憶されます。

記憶させた放送局を 聞く(プリセット選局)

あらかじめ記憶させておいた放送局を簡単に選ぶことができます。

RADIO BAND
AUTO PRESET



数字ボタン

1 RADIO BAND・AUTO PRESETボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

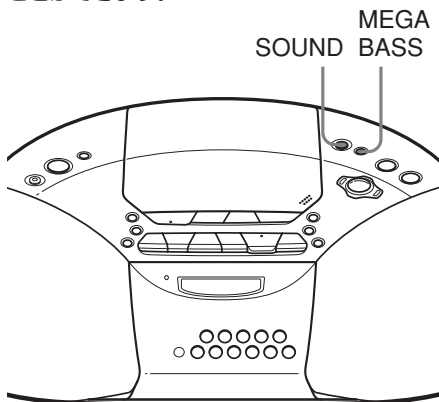
2 数字ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

プリセット番号が10番以降の場合は、>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

例：プリセット番号12の場合は、>10→1→2の順に押します。

好みの音質で聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選べます。また重低音を強調することができます。



迫力ある重低音を楽しむ

MEGA BASSボタンを押して「MEGA BASS」を表示させる。

通常の音に戻すには、もう一度MEGA BASSボタンを押します。

サウンド効果を楽しむ

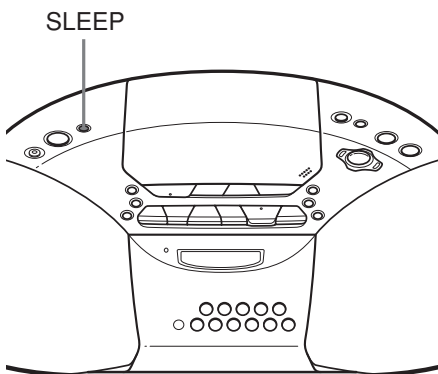
SOUNDボタンを押す。

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。希望の音質を選んでください。

| 表示 | 音質 |
|----|--|
| | <p>ロックなどに。 重低音と高音域を増強し、メリハリのきいた迫力のサウンドになります。</p> |
| | <p>ポップスなどに。 中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。</p> |
| | <p>ジャズなどに。 低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。</p> |
| | <p>ボーカルを聞きたいときに。 中音域が強調され、ボーカルをきわだたせます。</p> |
| | <p>クラシックなどに。 ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときに適しています。</p> |

音楽を聞きながら眠る (スリープ機能)

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みなれます。



スリープ機能を途中で止めるには
POWERボタンを押して、電源を切ります。

ご注意

テープを聞きながらお休みになるとき、片面のテープの長さが設定した時間より長いときは、片面の再生が終わるまで電源は切れません。

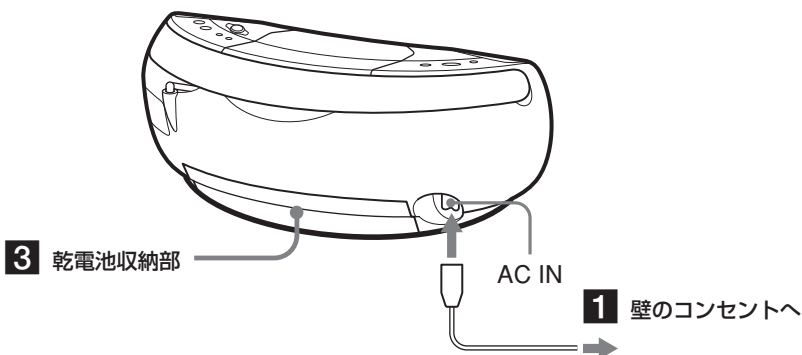
- 1 聞きたい音楽の再生を始める。
- 2 SLEEPボタンを押して、「SLEEP」を表示させる。
- 3 SLEEPボタンを押して時間(分)を選ぶ。
ボタンを押すごとに「60」→「90」→「120」→「OFF」→「10」→「20」→「30」と変わります。



SLEEPボタンを押してから約4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。
指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

電源を準備する

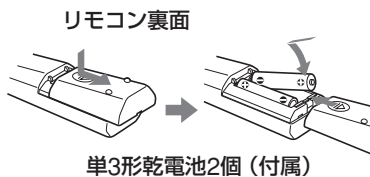
家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。
録音するときは、電力消費量が大きいため、家庭用電源でお使いください。



1 電源コードを接続する

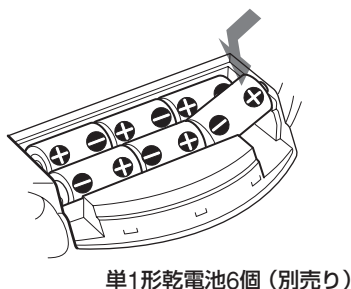
本機のAC IN端子に差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

2 リモコンに乾電池を入れる



3 乾電池で使う

乾電池でお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。



乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

乾電池の交換について

乾電池のみで使用し、乾電池が消耗してくるとOPR/BATTランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

ご注意

- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて傷つくおそれがあります。
- 乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。

使用上のご注意

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気に変化して不具合がおきることがあります。
 - 時計
 - クレジットカードなどの磁気カード
 - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
 また、本機をテレビの近くにはおかないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないように持ちます。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

大切な録音を守る一誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こざぎみな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは、33ページに記載されているテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

共通

| 症状 | チェック項目 |
|------------------------------|---|
| 電源が入らない。 | <ul style="list-style-type: none">電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。乾電池を正しく入れる。乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。乾電池でご使用中は、リモコンで電源を入れることはできません。 |
| 表示窓に「BATT」と「ERROR」が交互に表示される。 | <ul style="list-style-type: none">乾電池を正しく入れる。乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 |
| 音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none">音量を調節する。スピーカーで聞くときは、ヘッドホンをⓂ(ヘッドホン)端子から抜く。 |
| 雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none">近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している →携帯電話などを本機から離して使用する。 |

CD部

| 症状 | チェック項目 |
|----------------------------|---|
| 再生が始まらない。 | <ul style="list-style-type: none">CDぶたが閉まっていることを確認する。 |
| CDが入っているのに「no DISC」が表示される。 | <ul style="list-style-type: none">CDが裏返し →文字のある面を上にする。CDの汚れがひどい →クリーニングする。(28ページ)レンズに露(水滴)がついている →CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。CD-R/CD-RWに何も記録されていない。ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 |

[次のページへつづく](#)

故障かな?と思ったら(つづき)

| 症状 | チェック項目 |
|--|---|
| 音がとぶ。 雑音が入る | <ul style="list-style-type: none">• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。• CDの汚れがひどい →クリーニングする。(28ページ)• 振動のない場所に置く。• CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音が飛んだり雑音が入ることがあります。 |
| CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none">• 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。 |
| 「NOT MP3」が表示される。 | <ul style="list-style-type: none">• 「mp3」という拡張子については、MP3ファイルではないファイルを再生しようとしている。(38ページ) |
| 「NOT MP3」と「LAYER 1」、または「NOT MP3」と「LAYER 2」が交互に表示される。 | <ul style="list-style-type: none">• MPEG 1のLayer 1またはLayer 2のファイルを再生しようとしている。本機で再生できるのはMP3(MPEG 1 Audio Layer3)のファイルのみです。(38ページ) |
| 「no MP3」が表示される。 | <ul style="list-style-type: none">• ディスクにMP3ファイルが入っていない。 |

ラジオ部

| 症状 | チェック項目 |
|------------------|---|
| FM受信時、ステレオにならない。 | <ul style="list-style-type: none">• MODEボタンを押して、「ST」を表示させる。(13ページ)• ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。 |
| 雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none">• 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。• FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。(13ページ)• テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。• AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。• このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。 |

テープ部

| 症状 | チェック項目 |
|---------------------|--|
| 操作ボタンを押してもテープが動かない。 | <ul style="list-style-type: none">カセットぶたをきちんと閉める。 |
| 前の録音が完全に消えない。 | <ul style="list-style-type: none">消去ヘッドをクリーニングする。(32ページ)乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。TYPEII(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)テープはお使いになれません。TYPEI(ノーマル)テープをお使いください。 |
| 録音ができない。 | <ul style="list-style-type: none">カセットを正しく入れる。デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。 |
| 雑音が多い。 音質がよくない。 | <ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。(32ページ)ヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。(32ページ) |
| 音が歪む。 | <ul style="list-style-type: none">TYPEII(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)テープはお使いになれません。TYPEI(ノーマル)テープをお使いください。 |

リモコン

| 症状 | チェック項目 |
|---------------|---|
| リモコンで操作ができない。 | <ul style="list-style-type: none">リモコンの乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(27ページ)リモコンを本体へ向けて操作する。本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。本体リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっていたら、当たらないようにする。 |

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記以外で動作が正常でないときは、電源コードをはずし、すべての乾電池を取り出し、表示窓の表示がすべて消えてから、再び乾電池を入れ、電源コードをつないでください。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

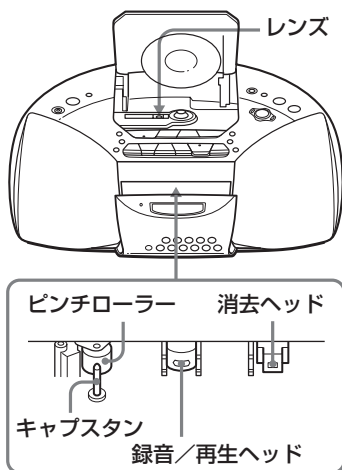
お手入れ

レンズのクリーニング

汚れた手でレンズに触れてしまったり、レンズの汚れが原因で音とびが起きたり、再生できなくなったときは、別売りのCDレンズクリーニングキットKK-91を使って、レンズをクリーニングしてください。

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。



録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッドイレーサー・クリーナーHE-6Cを使って録音/再生ヘッドに消磁してください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布で拭き拭きます。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCDラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月 - 金 9:00~18:00

（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月

主な仕様

CDプレーヤー部

| | |
|---------|------------------------------|
| 型式 | コンパクトディスクデジタルオーディオシステム |
| チャンネル数 | 2チャンネル |
| ワウフラッター | 測定限界以下(JEITA*) |
| 周波数特性 | 20 - 20,000Hz+1/-2dB (JEITA) |

ラジオ部

| | |
|-------|--|
| 受信周波数 | FM/TV: 76 - 108MHz (1 - 3CH) AM: 531 - 1,629kHz |
| アンテナ | FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵 |

カセットデッキ部

| | |
|--------|---|
| トラック方式 | 4トラック2チャンネル |
| 早巻き時間 | 約2分(ソニーカセットテープC-60使用) |
| 周波数範囲 | TYPE I(ノーマル)カセット 80 - 10,000Hz (JEITA) |

共通部

| | |
|--------|--|
| スピーカー | フルレンジ: 10cm、コーン型3.2Ω、2個 |
| 出力端子 | ヘッドホン(ステレオミニジャック)1個 負荷インピーダンス 16 - 68Ω |
| 実用最大出力 | 2.3W + 2.3W (JEITA/3.2Ω) |
| 電源 | 本体用: 家庭用電源(AC100V 50/60Hz) 単1形乾電池6個使用(DC 9V) リモコン用: 単3形乾電池2個使用(DC3V) |
| 消費電力 | 14W |

電池持続時間

| 使用乾電池 | ソニーニュー ソニー | スーパー アルカリ |
|----------|-----------------|-----------|
| 測定条件 | R20P | LR20 |
| テープ再生時** | 約7.5時間 (JEITA) | 約15時間 |
| FM録音時 | 約13.5時間 (JEITA) | 約20時間 |
| CD再生時** | 約2.5時間 (JEITA) | 約7時間 |

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

** 音量6分目程度

最大外形寸法 約386 × 166 × 252mm (幅 × 高さ × 奥行き) (最大突起部含む)(JEITA)

質量 本体 約2.7kg
ご使用時 約3.4kg (乾電池、CD、テープ含む)

付属品 電源コード(1)
リモコン(1)
リモコン用単3型乾電池(2)
取扱説明書・保証書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)

別売りアクセサリ

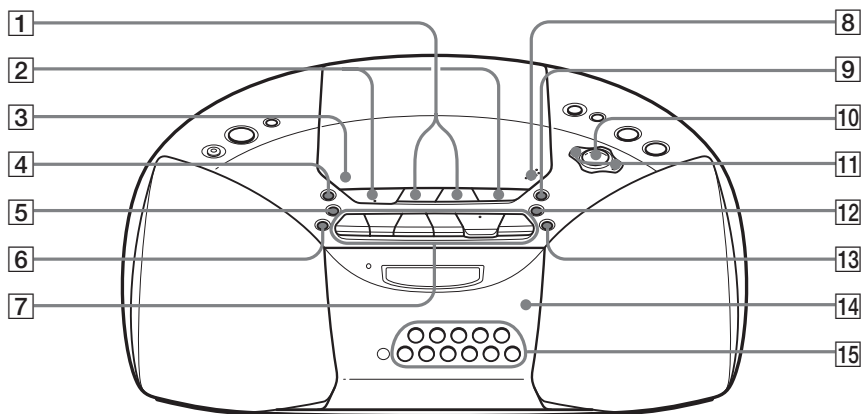
ヘッドイレーサー・クリーナー HE-6C
クリーニングキット KK-41

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

くわしい説明は () 内のページをご覧ください。

本体：CD／ラジオ／テープ部



1 **◀▶** (AMS (選曲) /サーチ)
TUNE+、-ボタン(9、10、12、19、
22、23)

2 CD操作ボタン
■ (停止)(9、22)
▶▶ (再生/一時停止)(9、10、20、
21、22)

3 CDぶた(10、12)

4 CDボタン(8、10、16、20、21)

5 RADIO BAND・AUTO PRESETボタン
(12、23、24)

6 TAPEボタン(14)

7 テープ操作ボタン
● (録音)(17)
◀ (再生)(14)
▶▶ (巻戻し)(15)
◀◀ (早送り)(15)
■▲ (停止/取り出し)(14、15、16、17)
|| (一時停止)(15、17)

8 **▲** PUSH OPEN/CLOSE(8、9、10)

9 REPEATボタン(20)

10 MP3ランプ(10)

11 FOLDER+、-ボタン(10、20、22)

12 MODEボタン(13、21、22)

13 DISPLAY・ENT・MEMORYボタン
(18、22、23)

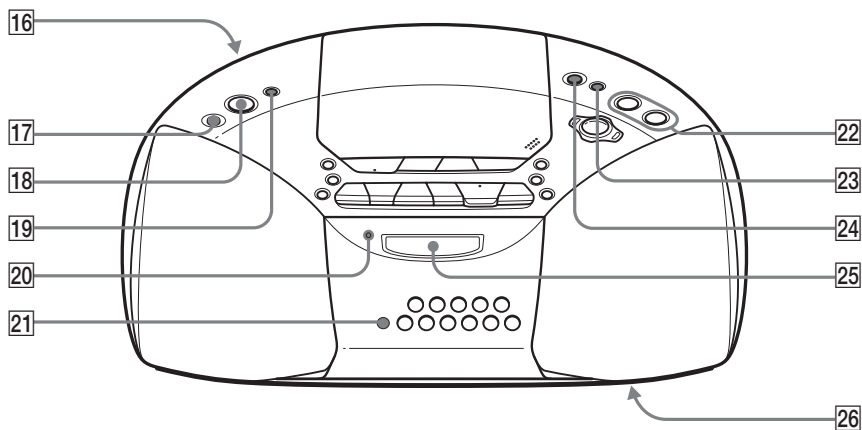
14 カセットぶた(14、16)

15 数字ボタン(19、20、23、24)

次のページへつづく

各部のなまえ (つづき)

本体：共通部



16 エーシーイン
~AC IN端子(27)

17 \odot (ヘッドホン) 端子 (ステレオミニ)

18 パワー
POWERボタン(9、13、15、17、26)

19 スリープ
SLEEPボタン(26)

20 オペレーション/バッテリー
OPR/BATTランプ(27)

21 リモコン受光部

22 ボリューム
VOL+、-ボタン(9、13、15)

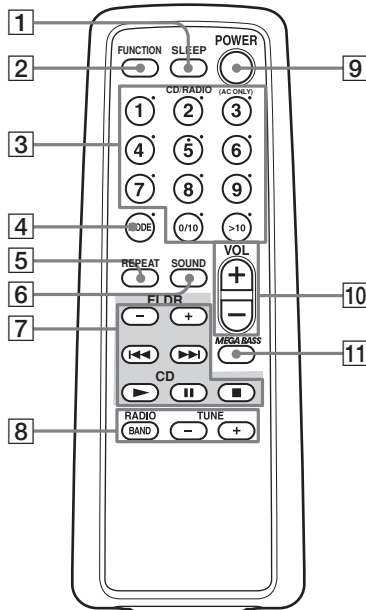
23 メガ ベース
MEGA BASSボタン (25)

24 サウンド
SOUNDボタン(25)

25 表示窓(18)

26 乾電池収納部(27)

リモコン



1 スリープ
SLEEPボタン(26)

2 ファンクション
FUNCTIONボタン
ボタンを押すごとにCD→TAPE→
RADIO→CD→…と切り換わります。

3 数字ボタン(19、20、23、24)

4 モード
MODEボタン(13、17、21、22)

5 リピート
REPEATボタン(20)

6 サウンド
SOUNDボタン(25)

7 CD操作ボタン

フォルダ
FLDR+、-(10、20、22)
◀◀、▶▶ (AMS (選曲) /サーチ)
(9、10、19)
▶ (再生)(9)
|| (一時停止)(9)
■ (停止)(9、22)

8 ラジオ操作ボタン

バンド
BAND(10、23、24)
チューン
TUNE-、+(10、23)

9 パワー
POWERボタン(9、13、15、17、26)
本体を電源コード (AC) でお使いのとき
のみ、リモコンで電源を入れることがで
きます。

10 ボリューム
VOL+、-ボタン(9、13、15)

11 メガ ベース
MEGA BASSボタン (25)

MP3について

MP3とは？

「MPEG Audio Layer3」の略で、音声圧縮技術のひとつです。ファイルはもとの大きさの約10分の1に圧縮されます。

本機で再生できるMP3ファイル

以下の条件で記録したMP3ファイルのみ再生できます。

使用できるメディア

CD-RおよびCD-RW

使用できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1、Level 2フォーマットとJoliet拡張フォーマットのみです。本機では1バイト文字しか表示することができません。（日本語のような2バイト文字は「*」で表示されます。）

使用できるディスクフォーマットの主な規格は次のとおりです。

- 最大ディレクトリー階層：8階層
- ファイル/フォルダー名使用可能文字：A～Z、a～z、0～9、_（下線）
- ファイル名の最大文字数：64文字および3文字の拡張子

ご注意

- ファイルになまえを付けるときは、「mp3」の拡張子を付けてください。
- MP3ファイルではないファイルに「mp3」の拡張子を付けると、本機はそのファイルを正しく認識することができません。

使用できるフォルダ数とファイル数

- 最大フォルダ数：255
- 最大ファイル数：255

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

- MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定」を推奨します。
- 最大容量まで記録する場合は、「追記禁止」の設定をしてください。
- 何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、「Disc at Once」の設定をしてください。

メディアに書き込むファイルについてのご注意

本機は再生する前に、ディスクに記録されているフォルダとファイルの全情報を読み込みます。ディスクに多くのフォルダがあったり、MP3ファイル以外のファイルがあると再生開始までに時間がかかったり、次のMP3ファイルの再生までに時間がかかることがあります。

MP3の記録されているディスクには、MP3以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないことをおすすめします。

ID3タグについて

ID3タグとは、MP3ファイルに追加されるテキスト情報（曲名、アーティスト名、アルバム名など）のことです。

ご注意

本機はID3タグフォーマットのバージョン1.1に対応しています。それ以外のバージョンをご使用になると、ID3タグの情報が正しく表示されません。

索引

五十音順

ア行

頭出し
CD 9
オートプリセット 23
お手入れ 32

カ行

乾電池
本体用 27
リモコン用 27
繰り返し聞く 20

サ行

サーチ 19
再生時間を調べる 18
再生する
CD 8
MP3 10
テープ 14
サウンド 25
シャッフル再生 21
重低音 25
受信状態をよくする 13
接続
電源コード 27
選曲
CD 19

タ、ナ行

ダイレクト選曲 19
タイマー
スリープ 26
調節する
音質 25
音量 9、13、15
テープ 14
電源
家庭用コンセント 27
乾電池 27

ハ、マ、ヤ行

表示窓 18
プリセット選局 24
プログラム再生 21
ヘッドの消磁 32
放送局を記憶させる 23

ラ、ワ行

ラジオ 12、23
リジューム再生 9
リピート再生 20
録音
誤消去防止 28
CD 16
ラジオ 16

アルファベット順

CDの取り扱い 28
ID3 18、38
MEGA BASS 25
MP3 10、11、38
SOUND 25

CDラジオカセットコーダー
CFD-S20CP
T10-1001A-1

<http://www.sony.co.jp/>

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはおお客様相談センターへ

● ナビダイヤル  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金で
ご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでの
ご利用は.....03-5448-3311

● Fax.....0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、
土・日・祝日 9:00～17:00